

研究主題 「考え、伝え、学び合う児童の育成

～言語活動の充実を通して～

高学年分科会の目指す児童像・・・自分の考えや思いを目的に応じて伝え合い、深められる子

第3学年 国語科学習指導案

平成26年7月16日(水)

3年1組 25名

指導者 高野 優子

1 単元名 (教材名) 「日本語のひびきにふれる」(俳句に親しむ)

2 単元の目標と評価規準

情景を思い浮かべたり、五・七・五のリズムや言葉の響きを感じ取ったりしながら、俳句に親しむ。

関心・意欲・態度	・情景を思い浮かべたり、五・七・五のリズムや言葉の響きを感じ取ったりしながら俳句を作ろうとしている。
言語に関する知識・理解・技能	・俳句の基本的な特徴について知り、季節や情景を思い浮かべたり、五・七・五のリズムや言葉の響きを感じ取ったりしている。

3 単元について

(1) 児童の実態

国語の学習においては、意欲的に取り組む様子が見られる。漢字学習や話し合いも含めて、手を挙げて発言する児童も多い。「話す」ことに関しては、4月に「宝物をしようかいしよう」というスピーチ単元を行い、その後、テーマを決めて朝のスピーチ活動を継続している。事前に話すことを考えメモを読みながら話す児童が多いが、メモを見ないで頭の中で組み立てながら話せる児童も出てきている。「伝統的な言語文化」に関して学習するのは3年生では初めてであるが、俳句については2年生の時に五・七・五のリズムに合わせて、見たこと・経験したことを表わす経験をしている。この単元で、季語などの俳句の特徴をおさえながら、情景を思い浮かべ、五・七・五のリズムや言葉の響きを感じ取ることを通して、俳句に親しんでいきたい。

(2) 単元構成について

本単元で初めて文語調の文章にふれる。教科書に載っている俳句は季節を感じ取りやすく、易しくてわかりやすい言葉づかいのものを取り上げている。

本単元の目標には、「俳句に親しむ」とある。今回俳句に親しんでいる児童の姿を、具体的に①情景を思い浮かべている②五・七・五のリズムや言葉の響きを感じ取っている③自分で俳句を作っているという3つの姿として考えた。

まず、俳句の情景を思い浮かべるために、俳句の言葉に注目しながらそれぞれの俳句の景色や気持ちなどを話し合う活動を取り入れる。次に五・七・五のリズムや言葉の響きを感じ取るために、児童にとって身近な言葉を使って俳句を作り、リズムや言葉の響きの楽しさを共有する俳句遊びの活動を取り入れる。最後に、俳句のおもしろさを実際に作ることで実感させる。

この単元を通して一人一人が俳句のおもしろさ、よさにふれ、授業以外で俳句を目にした時に、情景を思い浮かべて音読してみたり、景色を見て俳句を思い出してみたりするきっかけになればと考える。

4 研究主題との関連

① この単元で身につけさせたい力

- ・情景を思い浮かべ、五・七・五のリズムや言葉の響きを感じ取る力

② そのための手だて

- ・俳句に書かれている言葉に注目して情景を思い浮かべ、話し合う。

提示された俳句がどのような様子、場面なのか一人一人が思い浮かべた情景を全員で共有する。その際どの言葉からその情景が思い浮かぶのか考えさせる。そうすることで言葉をもとに自分の感じ方との共通点や違いを考えながら話し合えると考えた。

- ・俳句遊びをしながら五・七・五のリズムや言葉の響きを感じ取る。

五音・七音の言葉を使ってリズムに合わせて俳句を作るという俳句遊びの活動を取り入れる。ここでは、情景や季語を意識せず、リズムを楽しむことを目的にして活動する。くじ引きでお題を決め、そのお題を使って俳句を作る。お題にする言葉は、児童が考えた言葉にする。そうすることで、児童にとって身近で、組み合わせやすく楽しみながら俳句を作ることができると思った。作った俳句は班で紹介し、みんなで音読した後、友達の俳句のよいところを伝える。最後に全員の俳句を掲示し、よさを全体で共有する。このような俳句遊びの活動を通して五・七・五の色々なリズムや言葉の響きを感じ取ることができると考えた。

- ・自分で俳句を作り、しおりにする。

前時までに学んだ、情景を思い浮かべること、五・七・五のリズムや言葉の響きを感じ取ることをふまえて、自分で俳句を作る活動を取り入れる。「夏」をテーマに、思い浮かぶ言葉をたくさん挙げ、その言葉や前時までに見付けたおもしろいな、素敵だなと思った言葉を参考に俳句を作る。俳句を作り、またその俳句をしおりにすることで、昔から伝わっている俳句が少しでも身近なものに感じるとともに俳句の楽しさ、よさを実感できると考えた。

5 学習計画（5時間扱い）

次	時	ねらい	学習活動	□評価 ☆支援 ・留意点
1	①	学習の見通しをもち、俳句の特徴を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ①俳句の特徴を知る。 ②情景を思い浮かべる。 ③五・七・五のリズムを感じ取る。 ④俳句を作ってしおりにする。 ・俳句の特徴を知る。 (音数、季語、歴史について) ・学習感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句を音読して、普段使っている言葉との違いやおもしろさなどの感想を言わせる。 ☑俳句の基本的な特徴について理解している。 (発言)
	②	教科書の俳句	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習活動を知る。 	
	③	の情景を思い浮かべ、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の俳句の季語やわからない言葉を確認する。 ・一人一人が思い浮かべた情景を発表し合う。 ・次時の予告をし、俳句遊びで使う言葉を考える。 ・学習感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句のどの言葉から情景が思い浮かんだのか考えさせる。 ☆写真を掲示し、視覚的にイメージさせる。 ・繰り返し音読させる。 ・俳句に使いそうなまたは自分の好きな五音・七音の言葉を書かせる。 ・拗音は前の音とセットで一音、促音と長音は一音と考える。 ☑それぞれの俳句の情景を思い浮かべている。 (発言・ワークシート)
	④	俳句遊びをし、五・七・五のリズムや言葉の響きを感じ取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習活動を知る。 <俳句遊び> <ul style="list-style-type: none"> ①班長がくじをひく。 ②決まったお題を使って俳句を作る。 ③作った俳句を班で紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・五・七・五のリズムを声と手拍子で確認し、このリズムに合わせて俳句を作ることを確認する。 ☆俳句遊びの見本を見せ、掲示する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・くじを引いて決まったお題を使って俳句を作る。 ・作った俳句を班で紹介する。 ・友達の俳句のよいところを見付け、伝える。 ・作った俳句を掲示し、いいなと思った俳句を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に児童から集めておいた言葉の中から6つ選んでおき、お題にする。 ・拗音・促音・長音の扱い方を確認する。 ☆悩んでいる児童には一部分だけあてはめればよい短冊を渡す。 ・時間内であればいくつも考えてよいことを伝える。 ・紹介の仕方を説明する。 ・司会は班長がすることと紹介する順番を伝える。 ☆よさの観点（五・七・五のリズムに合っている、おもしろい言葉・素敵な言葉を使っている）を掲示する。 ・おもしろい言葉、素敵だなと思った言葉は冊子にメモをするように伝える。 ・早く終わった班は、自分の班のお題で他にも作ってよいことを伝える。 ・作った中で自分のお気に入りの俳句を1つ黒板に貼る。 ・いいなと思った理由も言わせる。 ・季語を使っていたり、情景が思い浮かぶような俳句があったりしたら紹介する。 言五・七・五のリズムや言葉の響きを感じ取っている。（短冊、発言）
--	--	--	---

	⑤ 俳句を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「夏」と言えばどんな言葉が思い浮かぶか話し合う。 ・「夏」をテーマに自分で俳句を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いで出てきた言葉や前時までで見つけた素敵な言葉を、作る時の参考にさせる。 ・小さな短冊を用意し、俳句と絵を書かせる。 ☆悩んでいる児童には、自分が実際に体験したことを思い出させ、五・七・五のリズムに言葉をあてはめるようにさせる。 ☆書けない児童に一部分だけあてはめればよい短冊を渡す。 関情景を思い浮かべたり、五・七・五のリズムや言葉の響きを感じ取ったりしながら俳句を作ろうとしている。 (観察・短冊)
--	----------	---	--

6 本時の学習（4／5時間）

(1) ねらい 俳句遊びをし、五・七・五のリズムや言葉の響きを感じ取る。

(2) 展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	○評価 ☆支援 ・留意点
10	・今日の学習活動を知る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">リズムに合わせて俳句遊びをしよう。</div> <p><俳句遊び> ①班長がくじをひく。 ②決まったお題を使って俳句を作る。 ③作った俳句を班で紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・五・七・五のリズムを手拍子で確認し、このリズムに合わせて俳句を作ることを確認する。 ☆俳句遊びの見本を見せ、掲示する。 ・前時に児童から集めておいた言葉の中から6つ選んでおき、お題にする。
10	・くじを引いて決まったお題を使って俳句を作る。	<p>(指導事項) 五・七・五のリズムで考えること。</p> <p>お題を使って俳句を作りましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・拗音・促音・長音の扱い方を確認する。 ☆書けない児童には一部分だけあてはめればよい短冊を渡す。

5	<ul style="list-style-type: none"> 作った俳句を班で紹介する。 	<p>(指導事項) 友達が作った俳句を聞いて全員で音読すること。</p> <p>作った俳句を班のみんなに紹介しましょう。</p> <p><紹介の仕方></p> <p>①一人が紹介する。</p> <p>②みんなで音読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 時間内であればいくつも考えてよいことを伝える。 紹介の仕方を確認する。 司会は班長がすることと紹介する順番を伝える。
5	<ul style="list-style-type: none"> 友達の俳句のよいところを見付け、伝える。 	<p>(指導事項) 友達が作った俳句のよいところを見付けること。</p> <p>短冊をならべて友達の俳句のよいところを見付け、伝えましょう。</p>	<p>☆よさの観点（五・七・五のリズムに合っている、おもしろい言葉・素敵な言葉を使っている）を掲示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> おもしろい言葉、素敵だなと思った言葉は冊子にメモをするように伝える。 早く終わった班は、自分の班のお題で他にも作ってよいことを伝える。
10	<ul style="list-style-type: none"> 作った俳句を掲示し、いいなと思った俳句を発表する。 	<p>みんなが作った俳句の中でいいなと思ったものはありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作った中から自分のお気に入りの俳句を1つ黒板に貼る。 いいなと思った理由も言わせる。 季語を使っていたり、情景が思い浮かぶような俳句があったりしたら紹介する。
5	<ul style="list-style-type: none"> 次時の予告をし、学習感想を書く。 	<p>次の時間は、情景を思い浮かべ、リズムに合わせて俳句を作り、しおりにしましょう。</p>	<p>言五・七・五のリズムや言葉の響きを感じ取っている。（作った俳句、発言）</p>

リズムに合わせて俳句遊びをしよう。

《俳句遊び》

- ① はん長がくじを引く。
- ② 決まったお題を使って俳句を作る。
- ③ 作った俳句を班でしようかいする。

☆よいところを見つけよう！

- ・ 五・七・五のリズムに合っているかな。
- ・ おもしろい言葉やすてきな言葉はあるかな。

(作った俳句を貼る)